

遺産を受け、外部人材の居住環境整備施設などに有効活用している。

例えば、損傷の少ない空き家を無償貸借や譲渡を行い、宿泊施設等での利用を進めて途次途次に活用している。また、農家民宿の開設も支援し、空き家と併せて教習旅所の受け入れの交流活動に活用している。また移住者の空き家のあってもいい、定住化の支援を行っている。この結果、過去5年間で27人が移住している。移住者は地域産業で生活においても活躍しており、頼りになる存在となっている。

伊豆市長の里・食と農推しと語った。

専門紙・誌4社共同キャンペーン「地域から元気を 地方創生が生み出す未来」

觀光經濟新聞

伊豆良の里の地域づくりの拠点となっているのが温泉施設「伊豆良温泉」の町。平成8年に旧美山町の町営施設として開業。美山町が福井市に吸収合併された後、20年からは地域住民が立ち上げた「伊豆良の里振興協会」が指定管理者となり、施設の管理、運営を行っている。

域民から新を調達するこ
策なく、**「田舎」**ならでは
れ合いを築んでもらい、
流事業など、インバウンド
の受け入れも行ってた。
アフターコロナを見据え
て、今後はその誘致にも再
び力を入れる。

「桃源郷のような、ちょ
っと千里離れたエリア。外
の人たちを温かく受け入れ
る地性もある。温泉、自然
文化、そして人との触れ
合いの世話、そば打ち、
農業体験や中心に受け入
れる農家民宿が4軒ある
。そのうち2軒は中学校
の教員旅行や家庭に受け
入れ、農産物を家畜、家
畜の餌を販売する」とい
う。域内は観光客らを受け
入れる農家民宿が4軒あ
る。域内の閑伐材や家庭から
出る廃木、廃屋の建材を燃
料に利用。「閑伐によりな
る地、里山の境界が明るく
なり、獣害対策になる」「地
域の森林資源を有効活用し
ることで、福井県内の温泉
施設で初めてこの地に約千
年伝わるという。」

域内は観光客らを受け
入れる農家民宿が4軒あ
る。域内の閑伐材や家庭から
出る廃木、廃屋の建材を燃
料に利用。「閑伐によりな
る地、里山の境界が明るく
なり、獣害対策になる」「地
域の森林資源を有効活用し
ることで、福井県内の温泉
施設で初めてこの地に約千
年伝わるという。」

温泉が地域づくりの拠点に

利用が目立つが、その累積など、さまざまな効果が期待できるといわれている。域についてアピールする良さが評判となり、近年は県外客の利用も増えている。待たれている。教書旅行はコロナ禍直前。観光資源はほかに、「ふの受け入れ開始」と歴史は浅く、おいしい水1000



伊自良温泉の外観

さらに特徴的なのは、温泉の加温に新ボイラーを使っていることだ。源泉温度が約37度と低く、従来は重油によるボイラーで源泉を加熱していたが、脱化石燃

民俗文化財に指定される「じじくれ祭り」が開かれる。周囲の木の幹や枝、葉が約1度と低く、従来は重油によるボイラーで源泉を加熱していたが、脱化石燃

毎年の5月5日は泉の無形の民俗文化財に指定される「じじくれ祭り」が開かれる。周囲の木の幹や枝、葉が約1度と低く、従来は重油によるボイラーで源泉を加熱していたが、脱化石燃

温泉郷や金沢の周辺で、もう油を加温して、最も多いパター

伊自良温

塗料報知

伊自良の里は、福良町の中央部に位置する里山地域（福井市上味見地区）。他の地方と同じく、少子高齢化と人口減少の課題を抱えている。これに対処すべく、地域外からの交流人口を増やすため「伊自良・いやしの郷づくり構想」を策定して、地域の活性化を推進した。成果として10年間で27人が移住している。

は、地域住民が「伊自良の里振興協会」を作り、地域住民を受け皿となって指定管理を受けて行っている。同地区では、地域内外との交流を一層促進すべく、2015年に「伊自良・いやしの郷づくり構想」を立ち上げ、地域活性化にさらに進めている。美しい景観を元にして癒やしの里としてインベーション。地域物件については無償で借借る。

また、伊自良温泉に隣接する「伊自良別館は2019年に飲食施設「いじやうき」を営業し、リニューアルした。地元食材を主に食事を提供している。各地で悩みの種となっていた宝家について、同地区に外部からの人の居住施設や宿泊施設などに有効活用している。状態の良いの、屋根部の青色に違和感を感じる。

一方、廃校利用の施設は、学校建築の典型的な鉄筋コンクリート造りで、外壁はパステルカラーに塗装された、ソフトな印象があるものの、

森林、田畑など里山の風景は、地域の美しさを見せるのに欠かせない要素である。点状する建築物の造形

落ち着いた色彩の周辺建物

豪族・伊豆良氏が拠点を構へる。農家レストランといった言い伝えられ
ランのオープンなど資料館
。創生に当たり、1999・武家の館のリノベーション、田んぼの再活用などに
6年には、ふるさと創生と
取り組む。

すために足がかりがない。

の地元



いじらやきはた食堂の外観。かつての地元資料館の別館を利用している

農村ニュース

[illegible]

生産を支える農事組合法人

減少に危機感を持った4件の農家が立ち上げた。「農地の集約し、法人化する」と、少しでも農業に取り組める人が現れれば」と思いがあったのことでという。

法人の栽培面積は23畧。うち酒米が3畧、飼料用米が7畧、ほかは主食用米。主食用米の品種はコシヒカリが主でいちほまれも作っている。販売については、ほとんどが直販。また、飼料用米については、地区内と語った。

こうしたさまざまな取りまわりのほかに、山間では、農地の集約化が進みつつある。さほどローンを導入しておき、農業散布で用いている。「地域に点在するわかれのほ場を防除する際、広域の共同防除では、適期に行うのは難しい。適期防除に向けて導入した。もう一つの理由としてはこうした新しいことをやることで若者が興味を引く農業ができればと考えたから」と語った。

中山間地、畦畔の面積

また、わかれのような中たい」と語った。

魅力より積極的に発信

取材日は上味見みらいファームで田植えの真ん中



取材日は上味見みらいファームで田植えの真っ最中

ハウジング・トリビューン

2025年5月1日現在、65歳以上の人口比率は29・57%と、10年前の23・59%から約6 percentage points 確実に高齢化が進みつつある。他地域と同様に、市中心部よりも山間部の高齢化率が高く、美山地区（市全体平均より15程度）と市中央平均より15程度高い。一方、美山地区の世帯数（2025年5月1日現在）は13,677世帯く、前年の14,433世帯から1・5%減少した。美山地区に先着して2017年に行った調査によると、市内全域にわたって「空き家等ではないがとられる」物件は169件、このうち美山地区は48件であり、世帯数に占める割合は3・35%であった。上味岡地域の現在の空き家の状況については定かではないが、多様な空き家が発生していることは間違いない。

福井市自然体験交流推進

住宅として、また農家民営として空き家が売買、賃貸されている。そのあつせんは組織や制度ではなく、住民など人と人とのつながりの中で行われることが多い。一方、移住者に目を移すと、東京都からの移住者もいるものの、多くが移住者も内定した兵庫県、愛知県など近県からの移住であり、20〜40代の若年層が大半を占める。この状況を見ながら、今年度は、対策を見ながら、移住促進を積極的に進めたいと考えている。

上味岡地域は一昨年に認定されたものの、折からの新型コロナウイルスの感染拡大を受け、移住促進を積極的に進めたいと考えている。

上味岡地域は一昨年に認定されたものの、折からの新型コロナウイルスの感染拡大を受け、移住促進を積極的に進めたいと考えている。

空き家に移住者にあっせん

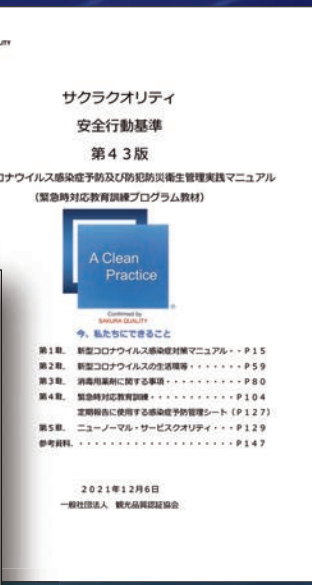
[illegible]

伊藤氏の後輩も空き家を活用して暮らしている

宿泊施設の「価値」には様々あります。
ホテル旅館不動産価値、事業価値、
宿泊単価、顧客満足、従業員満足、
社会的貢献度、地域性、文化発信力、
安全安心拠点、ネットワークのハブ機能…

我々は徹底して、
宿泊施設の「価値」を追及します。

株式会社日本ホテルアプレイザル 代表取締役
一般社団法人観光品質認証協会 統括理事
株式会社サクラクオリティマネジメント 代表取締役
北村 剛史



宿泊施設向け
新型コロナウイルス感染症対策
随時更新中
弊会HPより無償提供

観光圏、DMO 等との共同プロジェクト
宿泊施設品質認証制度であり
且つ品質向上プログラム
「サクラクオリティ」



■ホテル・旅館の調査、鑑定評価、コンサルティング
 株式会社 日本ホテルアプレイザル
 〒100-0011
 東京都千代田区内幸町一丁目 1-1 帝国ホテル本館 5 階 515 号室
 TEL.03-3580-2341 FAX.03-3580-2342 <http://www.jahp.co.jp>



<http://www.j-h-a.co.jp/>



■宿泊施設に対する DMO 等との共同品質認証
 一般社団法人 観光品質認証協会
 株式会社 サクラオリティマネジメント
 〒100-0011
 東京都千代田区内幸町一丁目 1-1 帝国ホテル本館 5 階 515 号室
 (株式会社日本ホテルアソシエーション内)
TEL.03-3580-2341 FAX.03-3580-2342



<https://www.sakuraquality.com>



<https://www.sakurastay.com/>